

要請番号 (JL31225A02)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
チリ	H114 理学療法士		個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国際協力開発庁

2) 配属機関名 (日本語)

ラス・ロサス基金第2番老人ホーム
NGO

3) 任地 (ロス・リオス州オソルノ市) JICA事務所の所在地 (サンティアゴ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1967年に最初の老人ホームの開所以来、現在はチリ国内8か所の地域に28の施設を運営し、約2,200人の高齢者をケアしている。一般市民や政府から寄付によって運営されている。保健省を通じ、経済的に困難な高齢者を受け入れている。スタッフの一部はボランティアとして従事しており、心と健康のケアを心掛け、食事の世話や入所者のQOLが向上するよう家族的な一体感を醸成する事に努めているカトリック教会系の施設である。他施設で2005~2011年の間に手工芸・作業療法士隊員を5名受け入れた経験がある。配属先HP

【要請概要】

1) 要請理由・背景

チリ南部とアルゼンチンを結ぶ要所の街にある老人ホームには、約115名が入所しており、約40%が要介護である。各種療法士、栄養士、看護師等がチームとなり、リハビリ提供やレクリエーションの実施等とともに、転倒による怪我を負った入所者が増加していることから、予防にかかるワークショップの実施等、入所者の健康維持・自立促進等のQOL向上のため、多岐に亘る取り組みを行っている。様々なニーズに対応すべく、日本における理学療法の知識・経験及び効果的なリハビリテーション実施が求められ、本要請がなされた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚らとともに、主に以下の活動を行う

- 入所者の運動機能等を評価し、理学療法を行う
 - 入所者の身体的機能、精神的機能活性化のため、各種レクリエーションを企画・実施する
 - 同僚らに対し、日本の知識・経験・技術を共有し、リハビリの質の向上を目指す
- ※マンパワー的な支援が求められる

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

一般的なリハビリ用資機材(平行棒、ボール等)、ホール、インターネット

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:配属先長(女性)、理学療法士(C/P、男性、経験年数14年)、看護師長、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、介護者46名等、計91名

活動対象者:入所者115名(男性55名、女性60名)及びその家族

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(理学療法士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：同僚に指導するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(西岸海洋性気候) 気温：(-8~36°C位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】